

「ジゼル」主演キャストプロフィール

1 上野水香氏プロフィール

- ・ 東京バレエ団 ゲスト・プリンシパル
- ・ 神奈川県鎌倉市出身。5 歳よりバレエを始める。
- ・ 平成 5(1993)年、15 歳でローザンヌ国際バレエコンクールにてスカラシップ賞を受賞した後、モナコのプリンセス・グレース・クラシック・ダンス・アカデミーに 2 年間留学。
- ・ 帰国後、古典全幕作品やローラン・プティ作品に数々主演。
- ・ 平成 13(2001)年 神奈川文化賞 未来賞
- ・ 平成 16(2004)年、東京バレエ団に入団。プリンシパルとして日本最高峰のバレエ団で主演を務めてきた。
- ・ 代表作は『ボレロ』。20 世紀を代表する世界的振付家故モーリス・ベジャール氏から直接『ボレロ』の指導を受けた最後のダンサーであり、日本人女性として初めて踊ることを許された上野水香氏の『ボレロ』は、深紅の円卓の上にその場の全てを集め、その振り上げた手からあふれ出る彼女の魂の輝きが多くの人々の心を揺さぶり続けている。
- ・ これまでの功績が認められ、令和 3(2021)年度(第 72 回)文化庁 芸術選奨舞踊部門 文部科学大臣賞を受賞。
- ・ 令和 5(2023)年 紫綬褒章 受章。
- ・ 日本のバレエ界を 20 年以上に渡ってトップランナーとして牽引しており、世界中のダンサーから共演を熱望されている世界に誇るバレリーナである。
- ・ 令和 5(2023)年 4 月 東京バレエ団 ゲスト・プリンシパルに就任。



上野 水香氏

photo by Keita Haginiwa

【バレエ以外の活動】

- ・ 令和 3(2021)年には人間国宝 梅若実玄祥 舞台生活 70 周年記念公演 新作能楽舞踊劇『鷹の井戸』やミュージカル『ドン・ジュアン』に出演するなど、その活躍はバレエだけに留まらない。
- ・ 平成 19(2007)年より「かながわ観光親善大使」を務めており、また、令和 4(2022)年にはプロデュースブランド『piuprima di mizuka』を立ち上げた。

2 厚地康雄氏プロフィール

- ・ 栃木県出身。石原千代に師事。
- ・ 平成 15(2003)年、NBA 全国バレエコンクール審査員長特別賞受賞。同年、英国ロイヤル・バレエ・スクールに留学。在学中にバーミンガム・ロイヤル・バレエ団(BRB)監督のデヴィッド・ Bintレーの目に留まり、平成 18(2006)年 2 月に卒業を待たずに BRB に入団した。同年 7 月、ロイヤル・バレエ・スクール卒業公演にゲストとして招かれ、ロイヤル・オペラ・ハウスでアシュトン『誕生日の贈り物』プリンシパルカップルを踊った。
- ・ 平成 23(2011)年、デヴィット・ Bintレーの新国立劇場バレエ団芸術監督兼任を機に、彼に勧められて同バレエ団にソリストとして移籍する。同年の『くるみ割り人形』で主役デビュー、翌年ファーストソリストに昇格。2年半の在籍中、多数の作品で主役を務めた。
- ・ 平成 25(2013)年に、BRB にファーストアーティストとして再入団。
- ・ 同年、ライト『くるみ割り人形』、Bintレー『パゴダの王子』で主役に抜擢された。
- ・ 平成 30(2018)年の日本ツアーではライト『眠れる森の美女』の王子で錦を飾り、同団初めての日本人男性プリンシパルになった。
- ・ 長身を生かしたダイナミックな踊りと、王子から悪役までの幅広い役柄の演じ分けでイギリス国内で好評を博した。
- ・ 令和4(2022)年に活動の拠点を日本に移し、NHK バレエの饗宴、東京バレエ団ガラ公演、NBA バレエ団『ドラキュラ』、小林紀子バレエシアター『シンデレラ』、法村友井バレエ団『シェヘラザード』など、多数の国内公演にゲスト出演している。
- ・ 令和5(2023)年に今後の活躍が期待される芸術家として宇都宮市から宇都宮エスペール賞を授与された。
- ・ 令和6(2024)年、ミュージカル「ビリー・エリオット」にオールダー・ビリー役で出演。



厚地 康雄氏